

総代から広がった取り組み！

阪神淡路大震災を経験した神戸。甲南大学生協では大震災を忘れてはいけないと毎年大切にしている1月に、総代の声から防災の取り組みが実現しました！

活動概要

日時：1月10日～1月20日

概要：1.17にむけて、震災の写真展を開催
復興アクションとして、食堂でひまわり油のこくうまみそ汁を提供。



POINT. 1

きっかけは総代の懇親会

今回の取り組みは、117KOBEぼうさい委員会に所属している総代が、総代会の懇親会の際に生協職員に声をかけたことから広がりました。総代会の懇親会は総代とコミュニケーションが取れる場です。総代である学生の声をしっかり聴き、大学生協・大学も協力し、たくさんの組合員に向けて、防災について考える機会を作りました。

POINT. 2

忘れないように1.17に思いをはせる

1995.1.17に阪神・淡路大震災が起これ、神戸市にある甲南大学は大切な人々や思い出、建物などを失うこととなりました。震災から25年がたち、時間の経過とともに忘れてしまうことのないように、甲南大学では阪神・淡路大震災を大切にしています。

今回、1.17に向けて、震災のパネル展を開催しました。甲南大学の阪神・淡路大震災の記録や災害への備えをパネルや避難所再現にまとめています。このパネル展は117KOBEぼうさい委員会に所属している甲南大学生が中心となって、甲南大学、甲南大学生協、神戸新聞社が協力して開催されました。

阪神・淡路大震災のさまざまな人の経験や教訓を知り、防災について考えるきっかけになってほしいというたくさんの人の願いが込められた取り組みになりました。



大学提供の
大学周辺の
被災の様子

大学生協
提供の
他大学生協
からの応援
メッセージ



[機関運営]
×
[防災]



甲南大学生協

1・17 防災の取り組み

